

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名	小倉 唯
所属	理学部生物学科
学年	1年
留学先	マラヤ大学 (マレーシア)
留学期間	2023/2/12~2023/3/5

留学レポート Study Abroad Report

今回私は SOSHIP というプログラムに参加しました。最初は自分でも覚えてないくらいの軽い志で参加を決めたのですが、帰国後にこのプログラムに参加できてなんて私はラッキーだったんだと身にしみて感じております。感染症拡大の懸念から昨年度までは中止、またはオンラインのみでの参加だったのが今回から派遣の形で参加することができました。それにあってマラヤ大学と大阪公立大学、双方に新しい試みがありその最初の参加者になれたことを大変うれしく思います。まず大阪公立大学 (大阪府立大学) から SOSHIP を派遣するのが初めてのことでした。SOSHIP は他大学を含めマラヤ大学に派遣された日本人学生 80 人弱の中で 5 人しか参加者がいませんでした。最初それを聞いたときは交流が少なくなるのではないかと心配しましたが授業以外の時間は他大学の学生とも交流がありましたし、私が SOSHIP を選んで本当に良かったと思ったのがこの少人数体制にあります。もう一つの SEP というプログラムでは日本人学生 5 人につき一人現地の学生がつくのにに対し、私たち SOSHIP には一人につき一人のバディがつき面倒を見てくれます。少人数行動の中で SOSHIP のメンバーとはもちろん、バディ達とも強いきずなが生まれました。授業内容も充実しており、国際関係についてや青年期の心理学、ジェンダー、マレーシアの文化について学ぶことができました。その授業をしてくださった先生の教師としての理念が素晴らしく、今までなんとなくでしか学んでこなかったことを恥ずかしく思うほどでした。尊敬できる先生との出会いは私に学ぶことの明確な理由、成長できる機会を与えてくれました。また、二日に一回マレーシアの伝統的なダンスのレッスンがあるのですが、最終日にその集大成を大きなホールで披露する場が設けられていました。今回初めてそのホールで大々的に開催されたく、その舞台を作るマラヤ大学の生徒のわずか二、三歳差とは思えない責任感、緊張感に圧倒されました。大学外ではバディがディナーやショッピングに連れて行ってくれます。マレーシアの人は辛い物が大好きで、食べ物が辛くないと、もはや人生がつまらないという人もいました。物価が安いところと晴れが多いところ、様々な宗教が互いに尊重されているところなどマレーシアという国の魅力が一步外に出ただけでたくさんわかりました。三週間滞在したホテルは大学から徒歩五分圏内にあるきれいなホテルで一人一部屋与えられていました。そこのロビーでみんなで UNO をしたり宿題をしたり、恋バナをしたりしたことが一番の思い出です。他にもホテルのエレベーターに閉じ込められたり、カニ臭いタクシーに乗ったり、素敵な思い出がたくさんできました。今回のプログラムに参加したことで私の人生はもっと華やかなものになったと断言できます。まさに私のターニングポイントとなりました。ありがとうマラヤ大学!! ありがとう大阪公立大学!! 万歳!!!!!!



